# 山協ニュース

岩手県山岳協会
第１９７号
平成 28 年 11 月 8 日発行
long-distance.jp/sangaku/


## 希望郷いわて国体山岳競技盛会裏に終了

国民体育大会開催二巡目となる第 71 回国民体育大会希望郷いわて国体は、東日本大震災復興の架け橋のもと「広げよう感動　伝えよう感謝」のスローガンのもと、10 月 1 日(土)北上市総合運動公園での総合開会式を皮切りに開催された。総合開会式では、山岳少年男子の山内響君(盛南3年)が県内各地で採火された炬火の最終ランナーとして登場。天皇、皇后両陛下や多くの参加者が見守る中、炬火台へ見事に点火。昭和 45 年岩手国体から、46 年、当時は、岩手山、秋田駒ヶ岳、早池峰山を会場に縦走競技が行われ、まだ公開競技でした。その後、縦走、踏査、登攀の時代を経て、8 年前の大分国体からリード、

ボルダリング競技へと移行、この間、新潟国体での少年男子の**リード優勝**、千葉国体での**ボルダリング成年女子準優勝**と山岳岩手の伝統をつないできました。

山岳競技は、スポーツクライミングとして急速に普及し、競技レベルも年々グレードアップし、ワールドカップや世界選手権大会など、メジャースポーツへと急激に変化してきています。

このような中開催された山岳競技は、本大会後半の 10 月 6 日(木)から 9 日(日)の 4 日間の日程で、盛岡市県営運動公園で開催された。今年は、8 月の IOC 総会で 2020 年東京オリンピックの正式種目として決定後、初めての大会ということで注目度もうなぎ上り。山岳競技会場には、三日間で 7,000 人(定時調)を超える観客が来場。大会初日、いきなり少年男子がリード競技優勝。翌日の日報トップを飾る。これで国体全体が、一気に盛り上がった。二日目は、一日中雨。リードの競技日程変更も検討されたが、我が国有数の屋根付き屋外リード壁。十分に機能を果たしてくれ、予定どおり実施。会場には、雨にもかかわらず多くの県民が応援に駆けつけてくれた。47 都道府県フルエントリー、世界選手権優勝者等日本代表が居並ぶ中、リードで成年男子が大健闘。序盤一位をキープしながら予選 5 位につける。この日は、ボルダリングでも熱戦が続く。少年男子が予選二位につけ最終日の決勝での二冠への期待が膨らむ。

三日目は、天候も回復。競技運営も順調に進む。

これまで幾度となく点検、打合わせを行ってきた競技役員が本領発揮。手前みそではあるが、満点に近い競技運営で、日山協の役員も安心して競技進行を見守る。

最終日の圧巻は、少年男子ボルダリング決勝。大阪、東京の強豪との完登数の争い。観客の大声援と相方、山内君のリードで第 3 課題完登の中島君の頑張りは、この大会一番の大歓声。感激して涙する大応援団。総合表彰式、競技役員解団式、実施本部閉

| 10/6(木) | 10/7(金) | 10/8(土) | 10/9(日) |
|---|---|---|---|
| **役員会議・監督会議** | **成年男子 B<br>少男 L(予)<br>少男 L(決)<br>種目別表彰式** | **少男 B(決)<br>少女 L(決)<br>成女 L(決)<br>成男 B(決)<br>種目別表彰式** | **少男 B(決)<br>少女 L(決)<br>成女 L(決)<br>成男 B(決)<br>総合表彰式** |

所式と続いたが、いずれも短時間でスムースに進む。

例年、予定時間を大きく遅れるが今回は、予定より３０分も早く閉会となった。

山岳競技日程

注　少男は、少年男子。　少女は、少年女子
　　成男は、成年男子、　成女は、成年女子
　　B は、ボルダリング競技、L は、リード競技
　　予は、予選。決は、決勝を表しています。

盛岡市実行委員会、競技役員、高校生補助員、市民ボランティアの皆さん本当にご苦労様でした。ま

た、連日応援に駆けつけてくれました協会名誉会員、顧問、加盟団体の皆さんありがとうございました。

山岳岩手を競技運営面でもいかんなく発揮でき、日山協から大きな評価を頂きました。

# 選手諸君、感動をありがとう

## 希望郷いわて国体少年男子 L 優勝、B 準優勝、成年男子L第６位入賞

地元開催ということで、大きな期待のもとプレッシャーのかかった選手諸君。感動をありがとう。

初日、少年男子、昨年の入賞実績をもとに一年間厳しい練習に耐え、オーストリアでの直前合宿等技術と精神面の強化のもと臨んだ国体。山内君リードでの自信のパフォーマンス。それに負けじと、高度を上げた中島君。強豪の大阪、東京の日本代表の上を行く立派な登攀、会場は感動の拍手。将来に向けて伸びしろのある立派な成績。少年女子ボルダリング、昨年、中学三年での国体出場。今年は、さらに技術

をアップ。あと一手で予選突破でしたが、悔しい11位、成年男子ボルダリング。相性が合わなかったか思わぬ苦戦、翌日のリードにリベンジをかける。

成年女子、ママさん選手として復活。一歳児を抱えての合宿や日々の練習、独身時代とは違った厳しい条件下での国体でした。悔しい国体におわりましたが、これまで、ここ数年岩手の国体山岳を紡いできてくれたことを思うと、感謝でいっぱい。ありがとう。すごい女子たちが続いています。まだまだ、年は気にせず、来年の愛媛も待っているぞ。

二日目　一日中の降雨。少年男子は、二冠を目指してボルダリングへ。順当に進み予選二位につける。少年女子は、リード競技へ挑戦。二人ともいつも登り慣れている壁の感触を感じながら高度を上げる。しかし惜しくも決勝進出ならず。悔しいが、二人のいわて国体は終わった。でも、まだ高校一年の原石、輝け。来年に向けて挑戦。

成年男子。大健闘(失礼)、47 都道府県フルエントリーの成年男子。今回は、世界チャンピオンの楢崎君やジャパンカップ優勝の是永君など日本代表メンバーがずらり。予選６組のうち５組を終わっても成績仮掲示板の一位は、岩手県。もしかしてとの期待のなか、成年男子初めての予選５位通過。決勝進出。成年女子は、リードに挑戦。なかなか本来の調子まではいかず、無念の予選敗退。でも本当にご苦労さん。サポートしてくれた旦那さんや託児所通いの一歳児にも感謝。

最終日

圧巻は、少年男子ボルダリング決勝。やはり東京、そして大阪が課題一撃ペースで、挑んできた。

予選結果の逆の出場順となるい岩手は７番目に登場。後ろには大阪が控えている。一課題、二課題と山内、中島組が確実にこなしていく。

後半の二課題を二人で制すれば二冠。早々に課題撃破の山内君が、三課題の大智君に指示。先行する大阪に次いで二位に入るか三位に甘んじるかの瀬戸際。大観衆も必死の「大智コール。」大声援にこたえて大智、ゴールのタッチパネルにゆっくりと、タッチ。会場が割れんばかり拍手。感激して涙を流す強化スタッフ。二冠は逃したが堂々の準優勝。

そこには、日本の、岩手のスポーツクライミングの夜明けを演出した二人の姿があった。

## 希望郷いわて国体出場選手

| 種　別 | 監　督 | 選　手 | 選　手 |
|---|---|---|---|
| 成年男子 | 畠山　晃<br>（古舘小） | 藤原祐樹<br>(岩手クライミ) | 昆　修太<br>（スポー振） |
| 成年女子 | 長谷川健太<br>(予防医学) | 金沢千怜<br>(岩手クライミ) | 立花里美<br>(岩手クライミ) |
| 少年男子 | 新 田 亮 一<br>（岩手高） | 山 内　　響<br>（盛岡南） | 中島大智<br>(盛岡南) |
| 少年女子 | 伊藤　圭<br>（盛岡市役所） | 田中里旺<br>（盛岡一高） | 吉田翠羽<br>（盛岡誠桜） |

## 希望郷いわて国体山岳競技県勢の成績

| 種　別 | リード | ボルダ | 天皇杯 |
|---|---|---|---|
| 成年男子 | 6位(9点) | 25位(予選) | 6位<br>(64点)<br>(参加点 10点) |
| 成年女子 | 11位(予選) | 14位(予選)3 | |
| 少年男子 | 1位(24点) | 12位(21点) | |
| 少年女子 | 14位(予選) | 11位(予選) | |

### 山内　響君、盛岡市の炬火リレーで最終ランナーを務める。

希望郷いわて国体を盛り上げようと、県内各市町村で国体炬火の点火式やリレーが行われました。山岳競技会場となっている盛岡市でも8月12日、炬火の点火式と市内リレーが行われ、山岳競技少年男子の本県代表の山内響君が、最終ランナーとして出場。県庁前から炬火台の待つ、JR 盛岡駅までの区間を力走し、無事点火し、大役を果たしました。暑い中、リードの壁を登るよりも緊張した面持ちで、市民の応援に応えていました。山内君は、10月1日北上市で行われる、国体総合開会式でも、炬火リレーの最終ランナーの大役を務めまました。ご苦労様でした。

### 2020 東京オリンピックスポーツクライミング競技の事前キャンプを盛岡で

国体の開催は、遺産として主管団体の指導者養成、施設整備、選手強化等が挙げられます。

協会では、国体後をにらんで協会組織の強化、メジャー化するスポーツクライミングの選手強化と普及を目標に、盛岡市で2020年東京オリンピックに出場する外国選手の事前キャンプを招致しようと7月29日に谷藤裕明盛岡市長に、8月1日には達増拓也県知事にキャンプ地招致要望を行いました。また、8月4日は、日本山岳協会の副会長でもある高橋会長が直接、八木原圀明日山協会長に協力要請の要望書を手交するなど、具体的な動きを加速しています。

これらの動きを受けて、9月8日(木)には、谷藤盛岡市長が白根スポーツ担当特別参事、吉田春彦専門監を帯同して代々木の岸記念体育会館の日山協を訪れ、直接、八木原圀明会長に、盛岡市の合宿環境やスポーツクライミングの盛上がり、強化候補選手の強化など取り組みの現状を説明し事前合宿誘致へ協力要請を行いました。日山協では、八木原会長、亀山、高橋副会長(協会会長)も同席し、連携を深めていくことを確認しました。できれば、盛岡市のホストタウンのカナダからの招致が実現すれば、さらに友好の絆の深まりが期待されます。

### 「山岳いわて　熱く燃えた夏　国体本番へ弾み」

### JOC ジュニアオリンピックユース B で伊藤ふたば　優勝。山内　響Jで6位入賞

中学生から高校生世代までのリード競技日本一を決める JOC ジュニアオリンピックが8月13日から15日まで富山県南砺市で開催され、本県から国体強化選手を中心に、これからのスポーツクライミングを担う若手代表選手、男子5名、女子6名が出場しました。

大会は、男子3クラス、女子3クラスで行われ、男子では。国体上位入賞を狙う山内響君が6位、中島大智が1位0に入った。

昨年4位の伊藤ふたばさんは、いよいよ地力を発揮、ユースBで見事優勝。イランでのアジアユース、中国での世界ユース代表候補となった。このほか、石塚櫂人、田中理央、吉田翠羽も健闘した。

この大会結果等をうけて日山協常務理事会で、伊藤ふたばさんを、9月にイランのテヘランで開催されるアジアユース選手権と11月に中国杭州で開催される世界ユース選手権大会への出場が決定した。

### ジュニアオリンピック成績

| 順位 | 男　子 | 順位 | 女　子 |
|---|---|---|---|
| 6位(J) | 山内　響(盛南) | 1位B | 伊藤ふたば(松園中) |
| 11位A | 中島大智(盛南) | 22位B | 田中里旺(盛一) |
| 22位A | 佐々木建彰(岩手) | 30位B | 吉田朱羽(誠桜) |
| 14位B | 石塚魁人(盛南) | 24位C | 小川　空 |

## 2016 情熱疾風中国インターハイで盛一女子

### 銅メダル

平成 28 年度全国高等学校登山体育大会が、8 月 6 日(土)から１０日(水)までの５日間、岡山県蒜山一体を主会場に開催されました。本県からは、男子が黒沢尻工業高校(監督　小野寺修　選手　高橋宇夢、佐藤励人、小野雄太、重田鈴之介)、女子が盛岡一高(監督　清藤祐貴雄、選手　近谷岬、熊谷瑚斗子、山村あゆ、須原麻衣)が出場。競技は、猛暑の中での大会となり、しかも 1200m 前後の標高でもあり、暑さとの戦いとなりました。黒工は、5 年ぶりの

登山女子団体　３位入賞を果たした（右から）近谷岬、山村あゆ、熊谷瑚斗子、須原麻衣＝岡山県真庭市・勝山文化センター

出場。前回入賞の３位以内入賞を目標に厳しい訓練を重ねてきた。体力等で高得点を上げ目標をとらえながら読図での失点が響く。中国山地とあって、なかなか足を運べない地理的ハンディもあり苦戦。それでも 17 位と健闘。来年に結び付く成果を収め、悔しいけれどやり切ったと。満足の帰校。女子の盛岡一高は、連覇を目指しての挑戦。昨年の優勝メンバー二名もおり、全国からマークかされる存在。競技は、順当に戦いましたが、１位と 4 位の差が 0.3 点でひしめく大接戦。盛一は、準優勝の就実高校(岡山)と同点の二位につけたが体力点の差で規定により第三位。実質連覇に等しい結果を岩手にもたらしてくれました。忙しい学業の合間を縫っての積み重ねが結実しました。

来年は、東北、山形県開催です。男女とも、厳しい県予選を戦い抜いて、岩手の力を発揮してほしいと思います。

## 協会名誉会員・顧問懇談会の開催

平成 28 年度岩手県山岳協会名誉会員・顧問会議が、7 月 31 日（日）盛岡駅西口マリオスで開催。

会議には、名誉会員矢羽々昭夫、出堀宏明、中谷充、斉藤善也の各氏、顧問の工藤洋司、渡辺正蔵、国本旗男、松尾　寿、古沢勝三、角掛喜美夫、高橋和夫、佐藤時男、川村芳征、波岡浩、小泉昌弘、滝田章の各氏。執行部からは高橋時夫会長、鈴木主計、岩澤健二、吉田春彦、西舘正治、武田勝栄各副会長、小山勝稔理事長、佐藤俊一副理事長、遠藤敏英、佐藤　誠、植田瑞穂各部長、中村浩之理事の 28 名が出席。高橋会長から、①スポーツクライミングの五輪競技種目に伴う日山協の在り方への対応について。名称の「日本山岳スポーツクライミング協会」については、時代の趨勢、環境等から改正については、必要性を認めること。ただ、岩手県山岳協会の名称は、現状では改正する考えはないこと。選手強化部は、スポーツクライミング部への改正と強化体制の見直し等検討していくこと。登山とスポーツクライミングの両輪で協会運営に当たっていくことを説明。出席者から・財源対策については協賛金の確保、スポーツクライミングの選手の協会への帰属の徹底、選手は、加盟団体に所属しているか。名目だけの登録はダメ。スポーツクライミング愛好者の協会加盟を徹底すること。日本フリークライミングア協会との関係はどうか。選手、審判等登録制を厳守のこと、加盟団体の若返り対策。

②東京オリンピックスポーツクライミングの事前合宿の盛岡市招致活動③希望郷いわて国体俊美状況について、県山協としての方針を説明し、意見交換をし、協会への期待等貴重な意見を頂きました。結びに、会長からスポーツクライミングと登山の両輪で協会運営、加盟団体の新会員の加入促進と組織の活性化対策へのお願い等が話され、大きな変革の時期を迎えていることが強調されました。

## ☆☆　晴れの表彰受賞　おめでとう　☆☆

**畠山　晃副理事長兼選手強化部長**

**（公財）日本体育協会国体功労表彰受賞**

国民体育大会に、選手、監督、競技役員としてとして直接かかわりをもち国民体育大会の振興発展に 30 年以上にわたり貢献した方に贈られる(公財)日本体育協会国体功労表彰を畠山　晃氏が 30 年間にわたって貢献したことで受賞した。表彰式は、10 月 1 日の国体

開会式後花巻市で開催された希望郷いわて国体懇談会の席上で授与された。山岳競技関係での受賞は、稀で、東北ではもちろん初めて、日山協でもこれまでの歴史でも数少ない受賞者となった。畠山副理事長は、現在も現役の指導者として岩手県はもちろんツ、日本のスポーツクライミングのレベル向上と日本代表選手の育成等に頑張っています。功績をともに称えたいと思います。

**諏訪木秀夫指導員（北上山岳会）（公財）日本体育協会公認指導員功労表彰受賞**

今年の（公財）日本体育協会公認指導員表彰を諏訪木秀夫指導員（北上）が受賞し、東京での授賞式に臨みます。諏訪木さんは、協会役員として、また公認指導員として長年、岩登り、沢登り、冬山技術指導に当たられ、後進の育成に努められています。　長年の地道な活動が評価されての受賞です。

**西舘正治協会副会長（公財）岩手県体育協会体育功労表彰受賞**

今年の（公財）岩手県体育協会体育功労表彰を西舘正治（岩手アルペーンローズ山岳会）が受賞。西舘副会長は、アルペンローズ山岳会会長として、地域山岳会の運営、後進の指導、協会副会長として安全登山の普及、協会の組織運営に長年尽力され、安全登山の普及に尽力してきました。

**山内　響君、中島大智君、伊藤ふたばさん、新田亮一先生（公財）岩手県体育協会栄光賞受賞**

世界大会や国体、全国大会優勝者に贈られる栄光賞が、国体リード競技優勝の少年男子山内響君、中島大智君、アジアユース選手権優勝の伊藤ふたばさん、国体監督の新田亮一先生が受賞。

なお、**山内　響君と中島大智君は、今年の岩手日報体育賞とダブル賞となりました。**おめでとうございます。世界に向けての通過点、さらなる精進を期待したいと思います。

**伊藤ふたばさん（松園中２年）、世界の舞台で活躍**

9 月にイランのテヘランで開催されたアジアユース選手権でリード、ボルダリングの二部門で優勝し日本代表となった伊藤ふたばさんの 11 月 7 日から 13 日まで中国で開催される世界ユース選手権大会での活躍を祈って、11 月 2 日（水）協会常任理事会に先立ち壮行会を開催、激励金を交付し世界大会の躍進に向けて激励しました。ふたばさんから「多くの皆さんに支えて頂き、世界の舞台に立つことができました。岩手のため、日本のため頑張ってきます。」と力強い決意の言葉が述べられました。**ふたばさん、いよいよ世界へデビューです。**

**第 43 回東北総体山岳競技総合 6 連覇**

今年で 43 回を迎えた東北総合体育大会山岳競技は、青森県階上町森の交流館を中心に、7 月 22 日から 24 日の三日間開催。国体各県フルエントリーの成年男子を加えた 4 種別で競技行われました。岩手県チームは、全種別で第一位の完全優勝。県別対抗でも 70.5 点を獲得し二位福島の 48 点を大きく引き離し断トツの総合優勝。選手強化の結果を出しました。

| 種別 | 種目 | 青森 | **岩手** | 宮城 | 秋田 | 山形 | 福島 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成年男子 | L | 5 | **1** | 6 | 2 | 4 | 2 |
| | B | 4 | **2** | 6 | 3 | 1 | 5 |
| | 総合 | 5 | **1** | 6 | 2 | -2 | 4 |
| 成年女子 | L | 5 | **2** | 1 | 4 | 6 | 3 |
| | B | 4 | **1** | 2 | 4 | 6 | 3 |
| | 総合 | 5 | **1** | 1 | 4 | 6 | 3 |
| 少年男子 | L | 5 | **1** | 4 | 6 | 5 | 2 |
| | B | 4 | **1** | 2 | 5 | 6 | 3 |
| | 総合 | 4 | **1** | 3 | 5 | 5 | 2 |
| 少年女子 | L | -4 | **2** | 1 | 5 | 6 | 3 |
| | B | 5- | **1** | 3 | 4 | 6 | 2 |
| | 総合 | 4- | **1** | 2 | 4 | 6 | 3 |
| **総合** | | **5** | **1** | **3** | **4** | **6** | **2** |

成年男子は、畠山晃(北上)を監督に、藤原祐樹(岩手)、昆　修太(岩手))のコンビで出場。初日のボルダリングでは思わぬ苦戦を強いられ2位スタート。一晩でスイッチを切り替え翌日のリードでは断トツの１位。成年女子は、長谷川健太（岩手クライミング）を監督に、ボルダリングとリードともに金沢千怜(岩手クライミング)が個人2位、立花里実（岩手クライミング)）が３位。総合で１位、少年男子は、新田亮一（岩手高）監督のもと山内響君（盛岡南３年）は、安定した素晴らしいパフォーマンスを見せ、リード、ボルダリングを制覇、少年東北チャンピオンに。中島大智君（盛南１年）も響君に続けと健闘、リード、ボルダリング２位。少年女子は、伊藤圭(盛岡市役所)が監督、田中理旺（盛一)、吉田朱羽（誠桜）コンビで出場。ボルダリングでは、１位、リード２位で総合一位。今大会は、種別での成績に大きな差がでた。成年女子は一年のブランクを超えての活躍。少年組もジュニア時代からの強化選手の山内、中島の力もアップし、少年女子の二人も高校一年となり順調に伸びている。新しい県営リード施設での練習成果の一端を垣間見た大会であった。

**スポーツクライミング 2020 年東京オリンピック正式種目に決定**

８月４日ブラジルリオデシャネイロで開催のIOC総会でスポーツクライミングの東京での開催が正式決定しました。山岳からスポーツクライミングへと大きく変貌している山岳競技です。

## 平成 28 年度協会評議員会を開催

平成 28 年度第２回評議員会は、７月 31 日（日）午後１時 30 分から盛岡市のマリオス会議室で開催されました。会議には、佐藤安美（和賀)、村上良則（都南)、村上伸男（翌檜)、浅沼昭男（大迫)、久世一彦(久慈)、大坊孝男(玉山)、千葉泰隆(RCC)の各氏、協会からは、高橋会長、鈴木、岩澤、吉田、西舘、武田の各副会長、小山理事長、遠藤事務局長、佐藤指導部長、植田登山普及部長、中村事務局理事が出席

事務局から、常任理事会で推薦を受けた平成 28 年度の県体協、県教育委員会、公認スポーツ指導者表彰、協会長表彰関係について諮問し提案通り推薦決定を頂きました。評議員からは、岩手山八合目避難小屋のストーブでごみ焼却の禁止、率先したごみの持ち帰り運動の徹底が指摘され順守することを確認しました。

### 加盟団体、山の日制定記念山行展開

８月 11 日の国民の祝日「山の日」制定記念「ふるさとの山を登ろう」キャンペーンは、一般山岳会 17 団体、高校山岳部５校が参加。６月から 10 月までの間、県内の山への記念山行を実施。山の日の意義と安全登山について啓発しました。この事業には、日山協からの助成もあり、多くの方々から参加して頂きました。　現在、登山普及部で記念事業報告書として取りまとめています。なお、「山の日」記念事業は、来年度も日山協の助成事業として実施予定です。加盟団体においては、来年度事業計画に予定をお願します。

## 山の日制定記念「ジュニア登山教室 in 岩手山 2016」報告書

晴れ渡る青空の中「ジュニア登山教室 in 岩手山 2016」が８月５日(金)から８月６日(土)に開催されました。山の日が制定されたことを記念し今年も“山の日制定記念”としました。

参加者は 17 組 49 名（小学生 29 名、保護者 20 名）スタッフを含めると総勢 57 名の登山となりました。

開講式では、高橋会長が参加者を激励し、さらに参加者の渡辺兄弟が参加した小学生を前に登山の誓いを述べました。

リーダーは、子供４班を佐々木四士美さん、川越鐵男さん、渡辺良平さん、三浦拓男さん、大人２班は山口吉男さん、佐藤幸治さんが担当し、チーフリーダー川越さんを先頭に登山を開始しました。１年生が５名参加したのですが元気良く、花の名前を教えて貰いながら登りました。４合目から旧道に入り岩場のクライミングになると１年生は一気にスピードアップ、遅れを取り戻そうと必死に、先行する家族の元へ向かいます。五合目で家族毎に昼食を食べ登山を再開、14：06 に最後尾の１年生も八合目避難小屋へ到着しました。荷を軽くして頂上へ向かい 15：37 全員で登頂を果た

しました。頂上は生憎のガス模様になりましたが最後尾の１年生が頂上に着く頃には時折青空が望めるようになり、記念撮影を済ませ下山を開始する頃には八幡平市の街並みが見れました。１年生は登ってきた道をそのまま下山、２年生から６年生は奥の宮を経由し下山、九合目の小屋を見学し八合目の避難小屋へ戻りました。

翌日は水平線の雲の中を力強く突き抜けるご来光を皆で拝み、食事を済ませ、手分けして小屋の掃除を済ませました。管理人の西舘さんに掃除の確認をしてもらい全員で記念撮影をし、8：20 新道へ下山開始。滑り易い登山道に苦戦しながら 14：05 登山口へ戻りました。

下山後全員で冷たいアイスをいただき、その後の閉講式では今回から少し高い台上にて小学生に修了証と記念品を受け取ってもらいました。また８年間スタッフを務めてくれた川越さんが今回で最後ということなので閉講式で感謝状を送らせてもらいました。

トイレや行動食等、登山行動前に繰り返し指示ができたことが全体的にスムーズな登山行動に繋がったと思います。またスタッフの役割として子供に怪我をさせないことを強く意識した行動ができたと思います。この教室は毎年卒業生が生まれます、同じようにスタッフも卒業する人もいます。スムーズに世代交代を図れるように計画書をより詳細なものへ見直していきたいと思います。　　登山普及部　長畑

## 岩登り講習会兼指導員研修会開催

８月２８日（日）今年の岩登り講習会兼指導員研修会は、盛岡市川目の岩場で開催。**参加者は、講師の田所一志（アルペンローズ）、指導員は、西舘正治、松山貴章（アルペンローズ）、盛合敏男（福岡山好会）吉田良弘、平賀照子（厳鷲）土井祐之（北上）の７名今回も、登攀技術の向上を目的に開催しました。**

**今回習得した技術は①セカンドクライマーの自己脱出　②懸垂下降でのバックアップの取り方　③支点構築の３点。特に、継続登攀中にトップのクライマーが墜落し意識の無い状況下で、セカンドクライマーがトップクライマーを落とすことなくテンションのかかったロープから自己脱出する技術については基本をしっかり習得し、そのような状況に遭遇した際に、手持ちの道具で応用が利くよう訓練を行った。**

**懸垂下降ではスリングを使ってのバックアップの取り方について田所講師から指導を受け、これも一人１回ずつ実施した。万が一、ロープから手がはなれたり、懸垂下降中に作業しなければならない状況でも手を放すことができる。最近、メインロープの径が小さい状況でフリクションノットを行うスリングの径のサイズをどうするか課題が残った。**

**支点構築については、キャメロト等をクラックに実際にセットをしてみて、その効き具合を確認した。**

**天気が良く、有意義な講習会であった。**

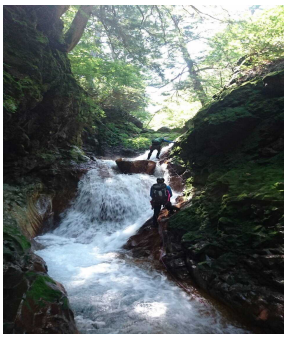
## 沢登り講習会兼指導員研修会報告

今年の沢登り講習会は、８月７日（日）岩手山七滝コースの焼切沢で開催。天候も晴れで快適な遡行に挑む。参加者は、土井、駒ヶ嶺、上戸（北上）寺内（高体連）平賀（岩鷲山岳会）渡邊、竹田、田所、千葉、松山（アルペンローズ）の１０名

講師は、駒ヶ嶺が担当。6：30 分県民の森駐車場に集合し、七滝登山口まで乗り合いで移動する。7：20 より登山開始。七滝入渓を目指すが入渓地点が分からず、そのまま登山道を進む。湿度が高く蒸し暑い。地図を見ながら入渓地点を定めた。8：10 標高 930mにて入渓。作業用の踏み跡・ロープがあった。全身汗だくだったので早速渓に飛び込んだ。歩きやすいゴーロを行くと 970mゴルジュ帯に入る。水量が豊富でまるでウォータースライダーの様であった。

その後もゴルジュが続き、激流に流されたらひとたま

りもない。徒渉地点では駒ヶ嶺が先行しロープを張る。後続は各々フィックスして徒渉。その後は快適な沢歩き。たまに現れる小滝に心が躍る。1090mのゴルジュ終わりの滝。左岸を直登する。水が冷たい。10：15 佐保沢出合1100m。大きな滝であるが傾斜が緩く歩いて登れる。1160mあたりの登山道すぐ横の滝。右岸を登る。駒ヶ嶺は左岸をノーザイルで突破。御釜湖からの伏流水が流れ込んでいる様で急に水が冷たくなった。氷水に入っている様で痛い。



標高1400mあたりの二股でぱたりと水が枯れる。そのまま沢を詰め上がり登山道を目指す。1530mにて登山道と思われる所に出るが、獣道の様でどうも怪しい。各々地図、コンパスを見合わせる。登山道からほぼ真北に見えるはずの屏風岩

1660mが北東に見える。もう少し上か。竹田が先行し沢を詰めると登山道に出た13:30。そのままお花畑に移動し13:58御釜湖分岐、下山の準備をする。下山は七滝コースを行く。

14：53大地獄谷分岐。下山は猛暑で距離も長かった。特に大地獄谷の下りは砂利道の急斜面で右側は切り立った崖になっており、慎重に下った。

16：50分に駐車場着。

焼切沢、佐保沢は渓相が素晴らしく、自然の美しさを感じる沢であった。また、登山道がすぐ横を通っており、エスケープも容易である。

今回の講習会では天気にも恵まれ、沢登り、ロープ操作など良い講習となった。　　報告　松山

## 平成28年10月24日 岩手山八合目避難小屋を冬季小屋へ切替えました

１０月２２日（土）～２３日（日）に協会加盟団体の協力により、岩手山八合 目避難小屋を夏季小屋から冬期小屋に切りかえました。

小屋正面入口は、小屋の中への雪の吹込み防止のため二ヶ所とも閉鎖していますので、小屋裏側の冬季 出入口を使用して下さい。 別棟の水洗トイレは凍結防止のため、来年の六月頃まで使用できませんので、小屋の中のトイレを利用して 下さい。（登山靴は脱いで使用願います）

**岩手山八合目避難小屋裏の出入り口**

出入口の横板は引き戸の外れ防止ですので、壊さないで下さい。引き戸の開閉は慎重にお願いします。（過去に引き戸が外れ雪が小屋に入り込むトラブルが有りました）小屋の中はガス以外は使用禁止です。食事や飲酒後のゴミ等持参したものは、全て持ち帰り、お互いに気持ちよく使用できるようにお願いします。（今年度もゴミをそのままにして、下山した登山者がいました）ネズミが入った場合、ネズミ捕りを活用し、捕獲したネズミは確実に処分願います。 ストーブは取り外しています。

御成清水は凍結防止のため、来 年の六月頃まで止めています。 水涸れや管が凍結しない限り、水場の後ろのパイプから流しています が、念のため各自飲み水は持参願います。

## 国体特設ボルダリング壁の移設要望

希望郷いわて国体山岳競技のボルダリング会場となった仮設施設について、今後の選手強化や東京オリンピック事前合宿、各種大会開催等に活用するため、国体遺産として活用するため、盛岡市長に移設を要望しました。ボルダリング施設を覆っている躯体は、解体撤去となりますが、競技壁そのものはスラブ状で国際大会での利用できる壁です。現在、運動公園の常設壁も8月にリニューアルして立派になりましたが狭隘で、一般愛好者との競合使用施設でもあり、選手強化と愛好者の間での利用で混雑しており、ぜひ盛岡市の配慮で市内の遊

休体育施設等への移設による有効利用ができればと要望するものです。

## お 知 ら せ

**希望郷いわて国体山岳競技報告会・役員慰労会兼第 60 回全国高等学校登山大会報告、並びにIFSC 世界ユース出場。アジアユース選手権大会報告会の開催）**

選手、監督の活躍も素晴らしく少年男子リード競技優勝、ボルダリング競技準優勝、成年男子リード競技6位入賞と山岳天皇杯6位となりました。また、これまで山岳岩手を紡いできました成年女子もママさんペアとして頑張って頂きました。少年女子も皆さんの声援を背に健闘することができ、協会の歴史に新たな1ページを刻むことができました。また、8 月に岡山県で開催のインターハイでは盛岡第一高等学校女子が 1位と僅差の 3 位入賞を、黒沢尻工業高校男子は 17 位と健闘し、山岳岩手の名を高めてくれました。更に、9 月イランで開催の IFSC アジアユース選手権大会では、伊藤ふたば選手がリード、ボルダリングの二種目で優勝し、11 月中国で開催の世界ユース選手権大会での活躍が期待されます。これらも含めて下記により国体報告、国体役員慰労会及びインターハイ、アジアユース大会等の選手の活躍を称える会を下記により開催

記

1　日時　平成 28 年 11 月 20 日(日)　午後 2 時 30 分
2　会場　盛岡市盛岡駅前　ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング(電話　019-625-1211)
3　参集範囲　岩手県山岳協会　名誉会員、顧問、参与、評議員、国体出場・インターハイ出場選手、監督、伊藤ふたば選手、国体山岳競技役員全員、盛岡市実行委員会関係者、県国体強化担当者、保護者等関係者

## 初冬期遭難事故発生

年間を通じて、最も山岳遭難事故が心配される初冬期。県内の山間部でも、本格的な積雪となった 11 月 2 日(水)、焼走りコースを岩手山頂に向けて登っていた県外の二人パーティの一人が、山頂付近で滑落。その後、下山の際、道に迷い御苗沢湖付近で県警ヘリによって発見、防災ヘリに救助される事案が発生しました。最近、積雪期での岩手山頂付近での滑落遭難事故が目立ってきました。アイゼン装着はもちろんですが、疲労の蓄積によるバランスを崩すなどしての転倒が原因か。装備を過信せず、体力にあった冬山登山が望まれます。

## 日山協山岳保険に入ろう

**日山協の山岳保険は、年度中途でも加入できます。**

多くの山岳保険がありますが、日山協の山岳保険は、登山ばかりではなく、日常生活でのケガも対象になります。また、ボルダリングやリード壁等でのロープを使用したクライミングもピクニックコースで比較的負担の少ない掛金での加入ができる等の利点もあります。万一の賠償責任保険も加味されています。更に、加入者数によって山岳協会への還付金等もあり、万一に備えての加入をお奨めします。**年の中途での加入もできます。**

詳しい内容を知りたい方及び加入希望の方は、県山岳協会事務局へお問い合わせ下さい。

## 初冬期登山講習会兼指導員研修会開催

今年度の初冬期登山講習会兼指導員研修会が12月3日(土)から4日(日)の二日間、八幡平市の裏岩手連峰三ツ石山を会場に開催されます。

今シーズン冬山登山を予定している方や、指導員の皆さんの参加をお勧めします。宿泊は、三ツ石山荘(部門によっては、ビバーク訓練あり)を予定しています。参加希望者は、11月25日(金)までに指導部担当の土井副部長あて申し込み願います。なお、指導員は、義務研修のひとつになっています。

## 冬山講習会兼指導員研修会の開催

来年度の冬山講習会兼指導員研修会は2月11日(土)から12日(日)の二日間、岩手山相の沢コースで開催されます。

本格的な冬山登山を目指している方は、冬山登山技術の取得の良い機会です。参加希望者は、2月1日までに指導部担当の土井副部長あて申し込み願います。なお、指導員は、義務研修のひとつになっています。

## 県山協の動き　（山協ニュース196号以降）

7/9(土)　鞍掛山トレランコース刈払い作業
7/10(日)　親子クライミング教室　運動公園
7/14(木)　日山協7月三役会・常務理事会
7/16(土)　県山協加盟団体交流会　相ノ沢
7/17(日)　鞍掛山トレラン大会　　鞍掛山

7/22(金)-24(日)東北総合体育大会　　青森県
7/25(木)　日山協規程検討委員会
**7/27(水)　第5回常任理事会(県体協)**
7/29(金)　東京五輪事前合宿招致要望　盛岡市
7/31(日)　県山協第2回評議員会(マリオス)
7/31(日)　県山協名誉会員・顧問懇談会
8/1(月)　東京五輪事前合宿招致要望　県知事
8/3(水)　第12回国体実行委員会県体協
8/4(木)　日山協8月三役会・常務理事会
8/5(金)-6(日)ジュニア登山教室in岩手山
8/7(日)　沢登り講習会(岩手山焼切沢)
8/7(日)-11(日)　中国インターハイ
8/11(日)　国民の祝日「山の日」制定事業
8/20(土)　第三回国体運営員研修会　矢巾町
8/23(火)　盛岡市実行委員会打合せ(市役所)
8/27(土)　日山協８臨時理事会
8/28(日)　岩登り講習会兼指導員研修会(川目)
9/1(木)　岩手国体選手激励会　盛岡市
9/2(金)　岩手国体選手結団式
9/4(日)　岩手国体山岳競技抽選会　東京
9/8(木)　日山協9月三役会・常務理事会
9/9(金)　盛岡市実行委員会打合せ(県体協
**9/14(水)　第6回常任理事会(県体協)**
9/7(水)　第13回国体実行委員会県体協
9/7(水)　盛岡市実行委員会打合せ(市役所
9/8(木)　岩手山八合目小屋週末管理スタート
9/12(月)　伊藤ふたば選手盛岡市長表敬・報告
9/14(水)　伊藤ふたば選手県教育長表敬・報告
9/17(土)　国体アナウンサー打合わせ(県体協)
9/20(土)　盛岡市実行委員会打合せ(県体協
9/24(土)-26(月)高体連新人戦・講習会(後期)
9/26(月)　高体連国体補助員研修会　八幡平市
9/28(水)　第14回国体実行委員会県体協
**10/1(土)　第71回国体開会式　北上市**
**10/6(木)-９(日)第71回国体山岳競技会**
10/13(木)　岩手高校校長表敬挨拶
10/14(金)　盛岡市役所　国体御礼表敬挨拶
10/16(日)　岩手山八合目小屋週末管理終了
10/20(木)　第5 回部長会(県体協)
10/22(土)-23(日)　岩手山八合目小屋冬切替
10/26(水)　第6 回部長会(県体協)
10/26(水)　日山協顧問会議　　東京
10/30(日)　第14回ボルダリング大会　運動公園
11/1(火)　日山協11月三役会・常務理事会
**11/2(水)　第7回常任理事会(県体協)**
11/2(水)　伊藤ふたば世界選手権壮行会(県体協)
11/6(日)　第7回高校クライミング選手権大会)
**今後の予定**
11/9(水)　第15回国体実行委員会(県体協)
11/13(日)　日山協理事会・臨時総会
11/20(日) 国体報告会、役員慰労会　盛岡
11/26(土)-27(日)　東北ブロック会議　秋田市
11/26(土)-27(日)近畿地区ブロック会議　会長
12/2(日)　雫石スキーリゾートエリア安全祈願祭
12/3(土)-４(日)初冬期講習会兼研修会三ツ石山
12/18(日)　第14回クライミングビギナーズコンペ　大迫
12/22(土)-23(金) 第7回全国選抜クライミング大会
1/11(水)　県山協会計監査)
1/16(水)　第1回部長会
1/18(水)　第1回常任理事会
1/25(水)　第1回評議員会
2/4(土)　平成29年度岩手県山岳協会定期総会
2/10(金)-12(日)東北高体連登山専門部研修会
2/11(土)-12(日)冬山講習会(岩手山　相ノ沢)

**【後　記】**

希望郷いわて国体も成功裏に終わりました。今年は、国体、山の日制定、オリンピック事前合宿要望、伊藤ふたばさんの活躍、盛岡一高女子の中国インターハイ入賞等朗報と多忙な一年になりました。国体、インターハイとも、表彰台に立つことができました。しかし、次に向けての課題も見えてきました。スポーツクライミングの急速な普及、世界選手権やジャパンカップ優勝者との戦い、国体で全国に勝つことの厳しさ。何とか自前の強化で６位入賞と頑張りました。皆様の叱咤激励を糧に希望のある６位としてポジティブにとらえジュニア世代の成長が楽しみです。

それにしても年間 5～6 回に及ぶ大会運営、ジュニア育成のためのスタッフ不足は深刻です。岩登り、冬山講習会等での加盟団体の若手会員の参加勧誘や技術向上も急務です。日本山岳協会の名称も「日本山岳スポーツクライミング協会」へと改正手続きが進んでいます。協会組織の抜本的改革の時に来ています。

登山とスポーツクライミングの両輪を堅持する岩手方式の継続と確立に向けて協会挙げて頑張るときがきました。(編集担当)